



島山 美幸 議員

今後はオンライン授業を実施すべき

学校教育について

**問** 新型コロナウイルスは教育界にも、2月27日の一斉休校要請で授業を受けられない状況になった。嵐山町は「日本一の教育の町」をモットーに岩澤町政は進んできた。今後の町の教育についてどのように進めていくか伺う。

**答** 教育長 (1) 小・中学校の教育について (2) 来年受験を控えている生徒の支援について

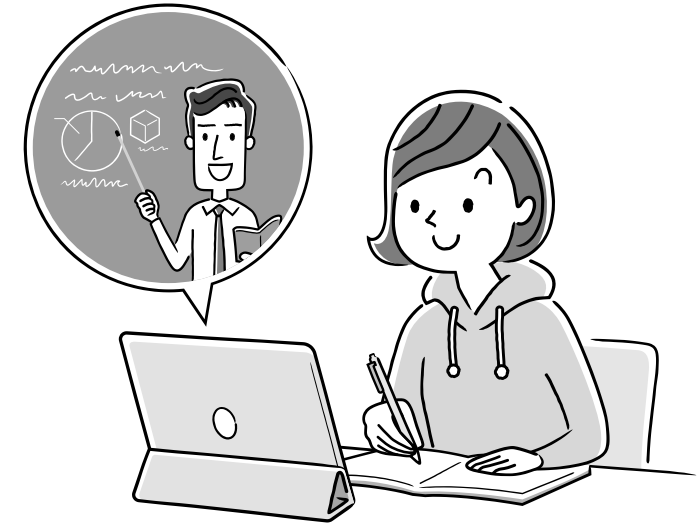
新型コロナウイルスの影響を受けた学生へ緊急支援を積極的に周知し迅速な手続きができるように考える

の学習指導に共通の考え方として、①時間割の工夫や学校行事の精選、夏季休業等の長期休業期間の短縮や土曜日授業の実施等により必要な授業時間数を確保する。②令和元年度中に未履修となつている事項について、令和2年度の教育課程内において同じ系統性の内容を指導する際に効果的に扱つこと。③新しい単元の導入時においては、授業時間中に復習の時間を設定し、既習させたうえで丁寧な授業を進めること。④学習内容の定着が不十分と思われる児童生徒に対し、個別の補修を行い追加の家庭学習課題を適切に課しながら

奨学資金貸付制度について

**問** 今年度は、新型コロナウイルスの影響で家庭状況等が変化してきている。緊急追加支援の考えを伺う。

**答** 教育委員会事務局 長 今回のコロナウイルス感染症により就学に影響を受けた学生等に積極的に周知を行っている。今年度に



地方創生交付金で小・中学校全生徒にタブレット購入。オンライン授業の実現へ

つき前倒しで6月広報に掲載し、7月末締めで迅速に手続きができるよう考えている。また、奨学金返還困難者に返還猶予の手続きができるよう周知する。

広報広聴常任委員会

(1) 広報部会

議会だより第178号の発行について

令和2年第一回定例会内容を広報するため、3月25日原稿締め切り、4月30日入稿、4月8日初校、4月26日再校、5月1日発行予定にて委員会を開催する。特に今号は新型コロナウイルス感染症が危惧される中の発行であつて、スムーズな運営と正確性が重視される予算議会の報告であつた。であつても今まで進めてきたデータ入稿、テレワーク作業が大きく効果をだし、編集作業の確実性に大きな効果を発揮した。

(2) 広聴部会

第16回議会報告会開催準備について

① 開催準備を始めた時点で既に新型コロナウイルス感染症拡大が懸念され開催

は厳しい状況も予想されたが、説明資料は通常にパワーポイント形式にて作成、準備はされる。

② 4月7日に政府緊急事態宣言が出された。感染予防のため、5月8日に予定された報告会リハーサル、5月16日の議会報告会も中止となる。中止広報はホームページ、5月1日発行の議会だよりにて住民にお伝えする他、報告会資料はホームページで公開することになった。

開催日	時間	場所
5月16日 (土)	9:00-11:30	市民ホール
5月16日 (土)	13:30-16:00	3のあい交流センター

第16回議会報告会準備資料として作成 (町、ホームページで掲載中) R2.5.1

付託議案審査報告 町道路線の廃止

議案第33号

「付託議案審査報告」町道路線の廃止

町道路線を廃止することについて(公共用地使用申請)の件は、町道志賀240号線(延長191・07m、幅員1・04m)2・19m、町道志賀337号線(延長195・90m、幅員0・79m)1・40m、町道志賀454号線(延長271・27m、幅員1・01m)2・17mの3路線についていずれも太陽光発電用地として貸付するために廃止するもの。

整備課長に出席を求め、説明を受けた後に、現地調査を行い、帰庁後に質疑、意見交換、採決という順序で行った。採決の結果全員賛成により「可決すべきもの」と決定した。議会本会議最終日において委員長より報告、質疑の後、採決を行い、賛成多数により可決した。

総務経済常任委員会に付託され、6月5日に審査を実施した。当日はまちづくり



開発が進む太陽光発電用地付近=R2.6.5